

一般質問



前田 治 議員

質問1

新型コロナウイルスワクチン接種の今後の接種計画は

市長

11月末までには接種を完了させたいと考えております

問 新型コロナウイルスワクチン接種予約での混乱が全国各地で起こる事態となっており、北斗市においてもコールセンターに何度電話してもつながらず、ようやくつながったら締め切られていたというケースが多数出ています。

ワクチン接種は、新型コロナウイルスの感染予防と、1日も早い終息を願う市民の大切な行動です。

混乱なく実施されることが大切です。以下の点についてお伺いします。

- (1) 北斗市の75歳以上の人口
- そのうち、ワクチン接種予約済み人数
- 及び接種済み人数について
- (2) 北斗市の65歳から74歳の人口
- そのうち、ワクチン接種予約済み人数
- 及び接種済み人数について
- (3) 今後の接種予約及び接種計画について

答(市長) (1)基準日である本年1月1日現在、75歳以上の人口は7千308人で、そのうち接種予約済みの方は6月10日現在で5千178人。接種済みの方は、予約不要

な高齢者施設入所者も含め、1回目が5千472人、2回目が969人となっています。(2)基準日における65歳から74歳の人口は7千73人で、6月10日現在予約済みの方は2千608人。接種済みの方は、予約不要な高齢者施設入所者も含め、1回目が534人、2回目が78人となっています。

(3)7月中旬には希望するすべての65歳以上の方に接種が完了する見込みでありまして、その後は対象年齢を徐々に下げ、いく形で接種券を発送する方針としており、ネットを使い慣れている現役世代が中心となることから、ウェブ予約の割合の増加が期待され、それにより電話がなくなりにくい状況もある程度回避できるものと考えています。

なお、接種につきましては、引き続き現在進めている個別接種主体で、不足分を集団接種で補うという方針の下、11月末までには、接種を完了させたいと考えています。



ワクチン接種の様子

問 今後、接種対象が若い人たちになっていきます。

北斗市以外に勤務する方も多いため、函館市などでスムーズに接種できる環境づくりの必要があるのではないのでしょうか。

答(保健福祉課長) なるべく早く、道南地域で皆さんがワクチン接種できるように、函館市等とも協議してまいります。

質問2

定年前の退職者が後を絶たないことへの認識は

市長

大きな損失と認識をしています

問 北斗市役所職員の定年前退職が後を絶ちません。

市民の福祉と暮らしを支え、住みやすいまちづくりを実現していくためにも、職員が定年前に退職することなく、経験を積み、元気に希望を持ちながら仕事ができる職場環境づくりが必要と考えます。

以下の点についてお伺いします。
(1)過去3年間の年代別の定年前退職職員数について

(2)過去3年間のひと月以上の病気休暇を取得した職員数について

答(市長) (1)平成30年度は全体で4人おり、30代が2人、40代と50代が各1人。令和元年度は4人で、30代が2人、50代と60代が各1人。令和2年度は7人で、

20代が1人、40代が2人、50代が4人となっています。

(2)平成30年度が3人、令和元年度が2人、令和2年度が8人となっています。

問 若い人たちを含めた定年前の退職者が後を絶たない、むしろ増えてきているという現状について、どう認識しているか。

答(市長) 職員が定年前に退職するということは、民間企業であれ市役所であれ、大きな損失だというふうに認識しています。

問 私は、この問題を何度も取り上げてきました。

平成30年の第1回定例会でも職員が働きやすい環境になるよう努めてまいりましたという答弁だったが、どのような改善をしてきたのかお知らせください。

答(総務課長) 職場環境の改善の取り組みですが、基本的には職員とのコミュニケーションを重視して、問題があった場合には、それを上司や同僚に訴えやすい環境ということで実施しています。

また、職員研修も昨年度から、新規採用職員を対象にかなりの期間をとってやっておりますし、今年度は新たに人材育成の取り組みを進めてまいります。